

## 『母乳育児支援スタンダード』正誤表

このたびは『母乳育児支援スタンダード』をご購入いただき誠にありがとうございます。本書の第6刷（2010年11月15日発行）に以下の誤りがございましたので、ここに訂正させていただきますとともに深くお詫び申し上げます。

訂正箇所	誤	正
12頁・12行目	2005年、「イノチェンティ宣言」 <u>25周年を</u>	2005年、「イノチェンティ宣言」 <u>15周年を</u>
68頁・「I.」の本文5行目	・母乳だけで育つ期間（生後6か月間）は母乳だけが望ましい。	左記を削除
71頁・「III.」の見出し	母乳と子どもの発達	子どもの発達における母乳育児の利点
111頁・表14-3・左列「ラクトフェリン」の2行目	ラクトバチラス	ラクトバチルス
117頁・「この項のねらい」	5) 栄養的、非栄養的吸啜の意味 6) 完全な吸啜のサイクルについて	5) 正常な吸啜パターンについて 6) 栄養的、非栄養的吸啜の意味
142頁・表18-1の下から2行目	●授乳の回数が24時間に7回未満のとき	●授乳の回数が24時間に7回以下のとき
178頁・図23-1～4	正しい図に差し替え（裏面を参照してください）	
181頁・図23-6		
182頁・図23-7		
210頁・1行目	…かけながら口唇に触れる合図で繰り返し教える。	…かけながら <u>乳頭で</u> 児の口唇に触れる合図で繰り返し教える。
230頁・表30-3・1～2行目	…消毒をします。入院中は <u>ミルトン</u> 消毒をします。	…消毒をします。入院中は <u>次亜塩素酸ナトリウム</u> 液で消毒します。
232頁・「2.」(2)の本文6～8行目	脂肪の組成は-70℃では変わらないが、-20℃で長期保存すると変成する。 <u>冷凍母乳の保存期間が長いほど、もともとの母乳中の脂肪の量が多いほど、母乳中のリポ蛋白リパーゼ活性によって脂肪酸分画の18:2、20:4などの長鎖不飽和脂肪酸が増加する。</u>	脂肪の組成は-70℃では変わらないが、-20℃で長期保存すると変成する。 <u>母乳の冷凍期間が長いほど、もともとの母乳中の脂肪含量が多いほど、母乳中のリポ蛋白リパーゼ活性によって母乳中の脂肪酸分画のリノール酸、アラキドン酸などの長鎖不飽和脂肪酸がエステル型から遊離脂肪酸に変化する。これらの脂肪組成の変化が、低出生体重児などの長期に冷凍母乳を与えられる子どもに影響するかどうかはわかっていない。</u>
233頁・表30-6	正しい表に差し替え（裏面を参照してください）	
296頁・「III.」の本文1行目	…母乳を飲んでいるか、母乳を中断して…	…母乳を飲んでいるか、 <u>そのうち母乳はどのくらい飲んでいるのか、</u> 母乳を中断して…
298頁・本文3～6行目	…サプリメントを使用して母親の乳房を吸啜している場合でも、授乳後搾乳をすることで、母乳分泌を維持または増加できる。その搾乳した母乳は、哺乳びんではなく、小さなコップやスプーンで与え、 <u>乳頭混乱を予防する…。</u>	…サプリメントを使用して <u>児が</u> 母親の乳房を吸啜している場合でも、授乳後搾乳をすることで、母乳分泌を維持または増加できる。その搾乳した母乳は、 <u>次回の授乳時に、</u> 哺乳びんではなく、ナーシング・サプリメントに入れて使うことで、 <u>乳頭混乱も</u> 予防できる…。
304頁・「2.」10行目	…保育者が練習することが <u>好ましい</u>	…保育者が練習するとよい。どうしても嫌がるなら、スプーンやコップを使うように頼むこともできる

（裏面につづく）

178 頁・図 23-1~4  
正しい図は、下のとおりです。

図 23-1 横抱き



図 23-2 交差横抱き



図 23-3 脇抱き

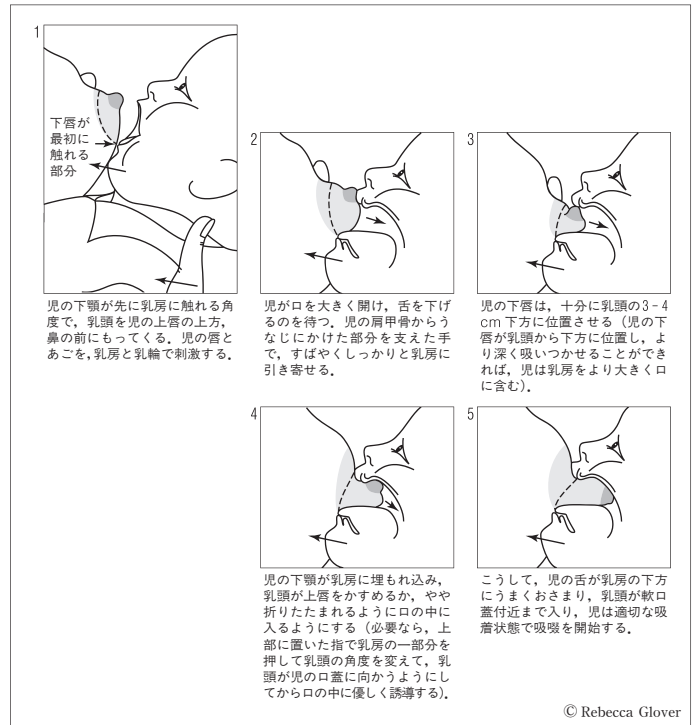


図 23-4 添え乳



182 頁・図 23-7 正しい図は、下のとおりです。

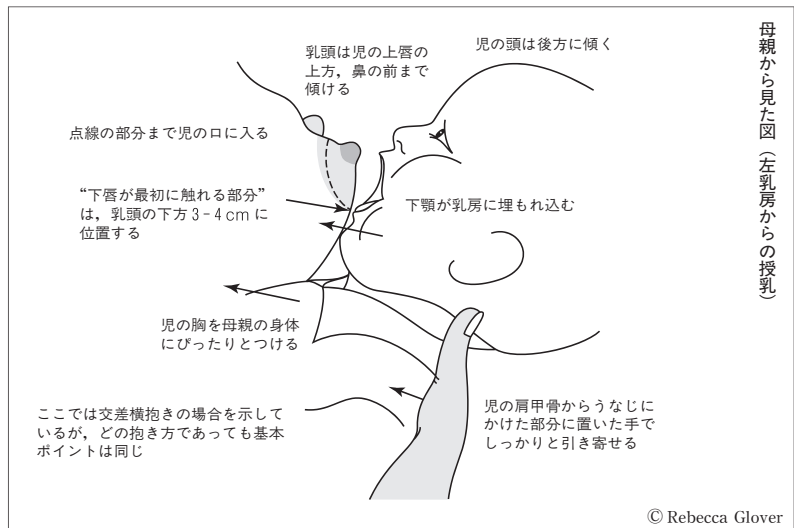
図 23-7 吸着（ラッチ・オン）のテクニック



Reprinted with permission. Contact information to Rebecca Glover : [www.rebeccaglover.com.au](http://www.rebeccaglover.com.au)

181 頁・図 23-6  
正しい図は、右のとおりです。

図 23-6 吸着開始時の児の位置（ポジショニング）



Reprinted with permission. Contact information to Rebecca Glover : [www.rebeccaglover.com.au](http://www.rebeccaglover.com.au)

233 頁・表 30-6  
正しい表は、右のとおりです。

表 30-6 搾母乳の保存期間<sup>33,34</sup>

病児	健康な乳児	早産児
室温 (26℃)	4 時間未満	4 時間未満*
冷蔵庫 (4℃; 新鮮)	8 日未満**	8 日未満**
完全解凍→冷蔵庫保存 (4℃)	24 時間未満	24 時間未満
1 ドア冷蔵庫冷凍室	2 週間	勧められない
2 ドア冷蔵庫冷凍室 (-20℃)	12 か月未満***	12 か月未満***
クーラーボックス (15℃)	24 時間未満	勧めない (運搬時は可)

\* 冷蔵する予定の母乳は搾乳後直ちに冷蔵する。  
\*\* 細菌数は 8 日以降も減少するが、栄養的、免疫的な質は長期冷蔵で損なわれる可能性あり。  
(著者注：したがって従来通り 48 時間を目安とすることが望ましい。)  
\*\*\* ただし 3 か月未満が理想